

補正予算特別委員会民生福祉分科会会議記録

1. 日 時	平成30年12月6日
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	木戸貞一、大西基雄、小島政行、向井千尋、前田えり子、森本富夫、
4. 市部局	消防本部 市民生活部 保健福祉部
5. 会議に付した事件	<p>議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号） 議案第90号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 議案第91号 平成30年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）</p>
開会	<p>木戸座長 挨拶</p> <p>(開会)</p> <p>日程第1、議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号）</p> <p>消防本部</p> <p>担当課より、補正予算書に基づき説明（資料1）</p> <p style="text-align: center;">＜主な意見＞</p> <p>前田委員 常備消防費に関し、東出張所の自家発電設備は、いつ頃から使用できなくなったのか。</p> <p>消防本部 2年前の台風によって東部地区が停電になった際に稼働しなかったが、その後、月1回の作動点検を行った時には正常に稼働したので問題ないと判断していた。しかし、今年になり、業者に点検をお願いしたところエンジンは稼働するが、発電していないことが判明した。自家発電設備は30年近く経過していることから部品も無く、修理できない状況と</p>

	<p>なった。</p>
木戸座長	<p>今年というのは具体的にいつ頃なのか。</p>
消防本部	<p>夏頃である。</p>
前田委員	<p>他の出張所の自家発電設備は大丈夫なのか。</p>
消防本部	<p>本署については毎月、電気事業者に委託し、点検している。西紀の出</p>
	<p>張所は、支所が点検している。南出張所には設備そのものがないため、</p>
	<p>整備に向け、平成 31 年度予算で要求しているところである。</p>
小島委員	<p>自家発電設備を稼働させるための燃料はどの程度確保しているのか。</p>
消防本部	<p>本署の危険物庫において燃料を確保しており、停電が長引いた場合でも</p>
	<p>携行缶によって補給できる体制を整えている。</p>
大西副座長	<p>予備の発電機は確保してあるのか</p>
消防本部	<p>能力的には劣るが現場用の携帯発電機を数台所有している。</p>
大西副座長	<p>月 1 回の点検では不十分ではないのか。</p>
消防本部	<p>意見を維持管理の参考にしていきたい。</p>
森本委員	<p>西紀の出張所の発電設備点検はどのように行われているのか。</p>
消防本部	<p>消防ではなく、地域コミュニティ課によって点検を行っている。</p>
森本委員	<p>支所に出張所が設けてあることから支所と連携して把握されたい。</p>
消防本部	<p>今後は把握に努めていきたい。</p>
木戸座長	<p>今田の出張所における発電設備は、当初予算で要求される一方、東出</p>
	<p>張所は、12 月補正で要求されている理由は何か。</p>
消防本部	<p>東出張所は既に設置しているものが故障したことから緊急性によっ</p>
	<p>て、12 月補正で要求し、今田出張所については、未設置であることや併</p>
	<p>設されている診療所と協議する必要があったことから当初予算で要求し</p>
	<p>ている。</p>
市民生活部	

■地域コミュニティ課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料 2）

<主な意見>

小島委員 総務管理費に関し、西紀防災行政無線事業について、戸別受信機の個人負担額は。

市民生活部 個人負担はいただいております貸与としている。

■斎場

担当より、補正予算書に基づき説明（資料3）

<主な意見>

- 小島委員 齋場運営管理費に関し、複層ガラスの交換工期はどの程度なのか。
- 市民生活部 現状ガラスの取り外しに2日程度、装着に2日程度を要する中、1、2週間程度の工期と聞いている。なお、天候によって工期が左右されることから、天候を見ながら工事時期を検討する。
- 大西副座長 湿気によりガラスが曇るのであれば、換気口を付ける工事等は考えていないのか。
- 市民生活部 この複層ガラスは、工場で製造する過程で、二枚のガラスを完全に密封し、その中に乾燥剤が入った状態で、複層ガラスとしての製品となっており、10年間の保証が付いている。仮に10年以内にこのような状態になれば、無料で交換していただける。
- 大西副座長 複層ガラスについては理解しているが、複層ガラスをより長持ちさせていくために換気口等を付けてはどうか。
- 市民生活部 齋場内のエアコンは利用者がある時のみ稼働させている中、極端に湿気しているとか極端に乾燥しているということではなく、空調システムにより適正な状態を維持している。
- 森本委員 複層ガラスの広範囲にカビが発生した原因は何なのか。
- 市民生活部 当該ガラスを取り扱っている事業者が現場を確認していただいたが、複層ガラスの圧着している部分のシール材等が経年劣化により、硬化し、目に見えないような隙間が生まれ、そこから湿気を吸い込み、カビなどの汚れが発生しているのではないかとの見解であった。
- 森本委員 施工事業者による瑕疵は考えられるか。
- 市民生活部 今回の複層ガラスについては、メーカーの保証期間が10年である中、10年以上もつこともある。寒暖差がシール材の劣化に影響するとのことであり、前面に池があるところから痛みが進んできた状況である。今回の事案について、メーカーに瑕疵があると判断することはできず、請求はできないと考えている。
- 森本委員 ひどい汚れが発生しているガラス以外にも交換する理由は何か。
- 市民生活部 今回22枚の交換工事を計画しているが、この中で特に傷んでいるのは9枚（追加資料1の2～6、17、18、19、22番のガラス）で、完全に色が変わっている中、炉前ホールの東側ガラス（22番）については、事業者を確認したところ池のそばではないことから、一定期間は大丈夫であろうとの見解であったが、その1週間後に22番の複層ガラス内に水分が入った事案もあった。こうした事案も踏まえ、どの複層ガラスも同時期に施工していることから、いつ水分が入ってもおかしくない状況であり、

複数回に分けて工事を実施した場合には、施工費及び諸経費等が余分に必要となることから、工事費を抑制するため、現時点で問題が顕在化していないガラスについても、今回、一括で交換することとした。なお、単層の強化ガラスで施工した場合、工事費は少し安価になるが、複層ガラスと比べて断熱効果が70%落ちる。このロスについて、空調に係る灯油代等の試算と比較したところ、多額の費用がかかることがわかっており、複層ガラスを施工することが、最も安価で最も効率的であると考えている。

森本委員 再発しない維持管理方法は考えられるか。

市民生活部 この複層ガラス内の汚れについては、通常のメンテナンスにより、何とかできるものではないとご理解いただきたい。

木戸座長 ガラスに係る利用者からの苦情について詳細を説明されたい。

市民生活部 平成30年度に入ってから、特に酷暑の時期に急激に複層ガラス内の汚れが進行した。西日が差す時間帯である午後3時から4時頃は、特に汚れが目立っていた。この時間は火葬を希望される時間帯であることに加え、待合ホール利用者の多い時間帯とも重なっており、利用者から苦情があった。苦情の際には、ガラス内側の汚れであることから、綺麗にできない旨を説明し、ご理解いただいたが、市の施設としてそのまま放置するのではなく、何とかできないかとのご意見をいただいた。

木戸座長 湿気が影響しているのであれば、人工池自体に課題があるのではないか。

市民生活部 斎場設計者のレイアウトイメージにおいて、東西に池があり、その両方を見通せるような配置になっている。人工池の廃止とまではいかなくとも、池の影響を和らげる手法については検討していきたいと考える。人工池の水は、奥から手前に向かって流れるように設計しており、その流れに向かって棺が回廊を通っていくイメージをもって設計されていることを申し添える。

木戸座長 設計に係るコンセプトも変えられないものではないと考えることから検討されたい。

■清掃センター

担当より、補正予算書に基づき説明（資料4）

<主な意見>

小島委員 清掃費分担金に関し、丹波市の山南地区のごみは、丹波市の施設で処理を依頼しているが、その処理費用は負担しているのか。

市民生活部 通常、山南地区のごみは火曜日と金曜日に市清掃センターに持ち込まれるが、現在、火曜日分を丹波市のクリーンセンターで処理を依頼している。その量は週平均において約 17 t であり、契約に基づきごみ処理手数料を丹波市へ支払う。この処理費用についても清掃センター運営費に計上し、負担率割合に基づいて両市が負担することとなる。その処理費用については、当初、余剰ごみの総量を 1,000 t と見込み、400 t を丹波市、残りの 600 t を市外（三重の民間事業所）で処理する計画としていたが、家庭系ごみが 200 t 減で推移している一方、市内の事業所より排出される事業系ごみが 320 t 増加していることから、100 t 分の追加費用に係る補正をお願いしている。

小島委員 塵芥処理費に関し、増加している事業系ごみの内訳は。

市民生活部 事業系ごみについては、一般的に増加しており、11 月末現在、事業系一般廃棄物で約 160 t、産業廃棄物で約 160 t 程度の増加がある。

小島委員 医療関係廃棄物、特に紙おむつ等は増加しているのか。

市民生活部 産業廃棄物における感染性廃棄物については、増加傾向にはない。老人ホーム等から排出される紙おむつは、一般廃棄物となるため、特定した重量把握はできていない。

小島委員 事業系ごみが増加している要因は何か。

市民生活部 事業系ごみの増加要因としては、景気が影響していると考えている。市内製造事業者は増産状況にある中、製品の生産過程において、一定の率で廃材が排出されることは避けられず、事業系ごみの増加に繋がっていると考える。なお、ごみの減量を図るため、年度当初より、排出量の多い市内事業者 30 社に対し、基幹的設備改良工事期間中のごみ減量の依頼をさせていただき、とりわけ上位 10 社に対しては、清掃センター所長と直接赴き、切実な状況を説明してきたが、数社において増加傾向がみられることから、10 月には、再度減量依頼の文書を送付している。更に 11 月には、排出量の多い 2 社に対し、「ごみ量増加理由書」と「ごみ減量計画書」の提出を依頼し、12 月 5 日に 1 社と面談を行い、削減にかかる協議を行った。こうした中、100 t は追加して搬出する必要があることから、やむを得ず 100 t の搬出にかかる補正をお願いするものであるとご理解いただきたい。引き続き、事業所に対してごみを削減するよう依頼を強く行っていく。

■ 市民安全課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料 5）

<主な意見>

森本委員 災害対策費に関し、旧町ごとに開設している主要な避難所6箇所等にテレビを設置するとのことであるが、テレビの必要性を確認しておきたい。

市民生活部 情報を得るためにテレビ、ラジオ等の配備が必要であるとの意見を避難者の方から多数いただいている。

向井委員 消防施設費に関し、消防団の出動回数が極めて多く起こったとのことであるが、例年と比較するとどの程度増加しているのか。

市民生活部 平成29年度については、1日のみであったが、平成30年度については、延べ10日となっている。

■市民衛生課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料6）

<主な意見>

森本委員 公害対策費に関し、自動車騒音常時監視業務について、減額幅が大きい理由は何か。

市民生活部 予算約138万円に対し、税抜46万7千円で落札された。設計については、公共事業で採用している単価で積算しており、実施にあたっては仕様書に合致しているか確認し執行している。

木戸座長 毎年、今年度のように減額しているのか。

市民生活部 毎年減額している。

木戸座長 設計に問題があると考え。しっかりと精査した上で予算要求すべきでないか。

市民生活部 設計内容については、再度検討していきたい。

小島委員 環境衛生費に関し、ダンボールコンポストの販売状況は。

市民生活部 ダンボールコンポストの販売状況については、住民学習会等で啓発をしているが伸びていない。引き続き啓発していく。

■市民協働課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料7）

— 質疑なし —

保健福祉部

■健康課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料 8）

— 質疑なし —

■地域福祉課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料 9）

<主な意見>

向井委員 障害者総合支援法給付事業の増額内容について、詳細に説明されたい。
保健福祉部 介護給付費の増加理由については、平成 30 年度当初予算計上時においては、平成 29 年 7 月に開設された就労系事業所について利用者がほとんどなかった状況であったが、その後利用者が増加し、現在 10 名にまで増加していることから、3 月までの給付費が足りなくなると見通している。障害児給付費については、平成 29 年 3 月に開設された事業所が、こども発達支援センターが主として取り組んでいない運動系訓練のサービスを主に提供されていることから、こども発達支援センターと両施設を利用される方が増加したことにより、3 月までの給付費が足りなくなると見通している。補装具給付費については、給付見込件数は例年と変わらないが、電動車いすやオーダーによる車いすの支給申請があるなど、1 件あたりの給付費が増加していることから、補正予算計上をお願いするものである。

日程第 2、議案第 91 号 平成 30 年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）

■地域福祉課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料 10）

<主な意見>

向井委員 地域支援事業に関し、介護サービスの向上に資する事業について、研修負担金減額の理由は何か。
保健福祉部 当該研修の予定参加者である介護相談員の定員は 20 名であるが、平成 30 年度当初に 11 名でのスタートとなったことから減額となっている。現在、再応募をしている状況である。
向井委員 定員を割り込んだことによる介護相談員事業への支障はないのか。

保健福祉部 相談員の方の負担を考慮すると、20名の時と全く同様の働きはできないことから、回数を減らしながらも市内の全事業所を回れるように取り組んでいる。

向井委員 定員を割り込んだ理由は何か。

保健福祉部 市から依頼している各種委員等については、介護相談員に限らず集まりにくい状況になっている。昨年度に介護相談員を担っていただいていた方からは、民生委員等との兼任は負担になっているとのことであった。

木戸座長 人材不足については、他の各種役員等にも共通する構造的な課題であると思うが、理由の把握に努められたい。

向井委員 地域支援事業費に関し、ケアプラン作成数の傾向について説明されたい。

保健福祉部 西部地域包括支援センターについては、ひと月あたり2件程度の減少となっており、要支援であった方が要介護になったことや要支援認定されなかったこと等が要因でないかと考えている。

日程第1、議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号）

■福祉総務課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料11）

<主な意見>

木戸座長 次世代育成支援対策事業に関し、現在集計中であるアンケートの分析結果について、可能な範囲で説明されたい。

保健福祉部 平成30年9月～10月の期間にアンケート調査を行った。調査対象者は市内在住の妊娠中の方、またはその夫、あるいは0歳児から未就学児を養育している保護者であり、1,398名の方に郵送等を行い、回答者は574名、有効回収率は41.1%であった。調査結果の概要としては、祝い金が第3子以降の出生のきっかけにはならなかったとの答えが60%以上を占めた。なお、祝い金の受給により、経済的な負担軽減になったとの答えは、70%近かった。

保健福祉部 アンケートについては現在集計中であるが、自由記入欄も多いこと等、完了している状況にはないことをまずはご理解いただきたい。アンケート調査の目的としては、第3子以降の出産に対して20万円を支給している中、平成31年度以降、どのような形で進めていくかを検討する材料とすることにある。今後の方向性については、小中高等学校の入学期の支給を望む意見もあることから、そうしたものも含めて、検討を進めており、新年度予算に反映できるようにしていきたい。なお、アンケートのとりまとめが完了した後に、委員会に結果報告をさせていただきたい。

木戸座長 出産祝金 20 万円を今後どのようにしていくのかを検討する目的でアンケートをとったという理解でいいか。

保健福祉部 そのとおりである。

木戸座長 クロス集計をする等してアンケート結果をしっかりと活用されたい。

森本委員 当初、国庫補助金である「地域子供の未来応援交付金」を活用し、業者に委託して実施する予定であった実態調査・分析業務について、自己調達に変更したプロセスを説明されたい。

保健福祉部 実態調査・分析業務については「出産祝い金の検証」及び「子育て世代のどの時期に経済的負担が大きいかの検証」を目的としていた中、アンケート実施に向け、5 月に関係各課が集まって担当者会議を行ったところ、関係課とのスケジュールの兼ね合いにより、合同実施が不可能になった。こうした状況を踏まえ、当課としては、必要最低限の内容に絞ったアンケートを行った方がよいのではないかという結論になり、結果として事業者に委託をしないこととした。

木戸座長 次世代育成支援や子育て支援のアンケートについては、未回答者がでないよう留意していただきたい。

日程第 3、議案第 90 号 平成 30 年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）

■医療保険課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料 12）

<主な意見>

向井委員 保険給付費等交付金に関し、高額療養費の増額補正の内容は。

保健福祉部 昨年度と比較し、特にがん、心疾患、脳疾患の受診が増えており、これらについては、長期の入院が伴うことにより高額療養費が増加しているとともに、団塊の世代の方が 70 歳以上となり 7 割給付から 8 割給付になる被保険者が増加したことも要因と考えられる。なお、今年度から国保財政が県域となった中、療養給付費の算定は、県がしており、算定額が少なく抑えられていたことも一因としてある。

向井委員 平成 31 年度が特段に多い状況ではないと理解していいのか。

保健福祉部 増加傾向にはあるものの、目立って多いということではない。

日程第1、議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号）

■医療保険課

担当課より、補正予算書に基づき説明（資料12）

— 質疑なし —

■意向確認

議案第87号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第7号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第90号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第91号 平成30年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）

— 修正・反対等の意見なし —

■その他

なし

（閉会）

大西副座長 挨拶

14：23 閉会

平成30年 月 日

補正予算特別委員会民生福祉分科会

座長